

# 2025年度 第3四半期 (2025年4月～2025年12月) 決算補足説明資料

2026年2月12日  
西日本鉄道株式会社  
(コード番号 9031)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 目次

---

	ページ
1 .連結決算概要 . . .	1
連結経営成績、連結の範囲	
2 .セグメント別損益 . . .	2～8
セグメント別損益状況、数量情報	
3 .連結財政状態 . . .	9
4 .2025年度連結業績予想 . . .	10
セグメント別損益予想	

1. 2025年度第3四半期 連結決算

《 全体損益等 》

営業収益	不動産業における住宅事業でのマンション販売戸数の増加や、賃貸事業での「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業（2025年4月）に加え、
営業利益	物流業における国際物流事業での輸出入取扱高の増加などにより、増収・増益
経常利益	持分法適用会社である大名プロジェクト特定目的会社での信託受益権の一部売却や 福岡国際空港株式会社での利益の増加等により、持分法による投資損益が改善したことなどもあり、増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	不動産流動化での信託受益権の売却による固定資産売却益の増加や、 政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の増加などもあり、増益

(単位：億円)

	2025/3Q	2024/3Q	増減	率(%)	主な増減内容
営業収益	3,436	3,167	268	8.5	(+) 住宅 87 (マンション販売)、国際物流 61 (取扱高増)、賃貸 47 (ONE FUKUOKA BLDG.開業)、 農業関連 37 (ヒノマルホールディングス連結子会社化)、ホテル実質 32、ストア 12、鉄道 10、その他サービス 8 (△) その他不動産 △6、建設関連 △4、ICカード △2
営業利益	227	215	13	5.9	(+) 住宅 26 (粗利増)、国際物流 14 (粗利増)、その他サービス 1 (△) バス △11 (費用増)、鉄道 △8 (費用増)、ホテル △3 (費用増、ONE FUKUOKA HOTEL開業費用)、ICカード △1
経常利益	290	224	66	29.3	(+) 持分法投資損益 52 (当期 48、前期 △4) (△) 支払利息 △5 (当期 △24、前期 △19)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	278	162	116	71.9	特別損益 77 (固定資産売却益 45 [当期：信託受益権]、投資有価証券売却益 32 [当期 55、前期 23])
※営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、2003年度に四半期決算が導入されて以来、過去最高					
事業利益	293	219	74	33.6	(事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等)
EBITDA	470	360	110	30.5	(EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])
設備投資	227	500	△ 273	△ 54.5	

《 連結の範囲（期末） 》 連結子会社 85社 (増加 6 社、減少 △ 2 社)、持分法適用会社 48社 (増加 7 社)、持分法非適用会社 6 社 (増加 1 社)

2. セグメント別損益

対前年比較

(単位：百万円)

	営 業 収 益				営 業 利 益			
	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)
運 輸	62,763	61,201	1,561	2.6	2,856	4,987	△ 2,131	△ 42.7
不 動 産	66,191	55,326	10,865	19.6	9,344	6,866	2,478	36.1
流 通	56,222	54,683	1,538	2.8	597	644	△ 47	△ 7.4
物 流	110,404	105,073	5,330	5.1	3,979	2,471	1,507	61.0
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	43,255	38,850	4,405	11.3	5,220	5,337	△ 117	△ 2.2
そ の 他	25,106	21,637	3,469	16.0	1,381	1,622	△ 240	△ 14.8
調 整 額	△ 20,383	△ 20,039	△ 344	-	△ 670	△ 478	△ 191	-
合 計	343,560	316,734	26,826	8.5	22,709	21,451	1,257	5.9

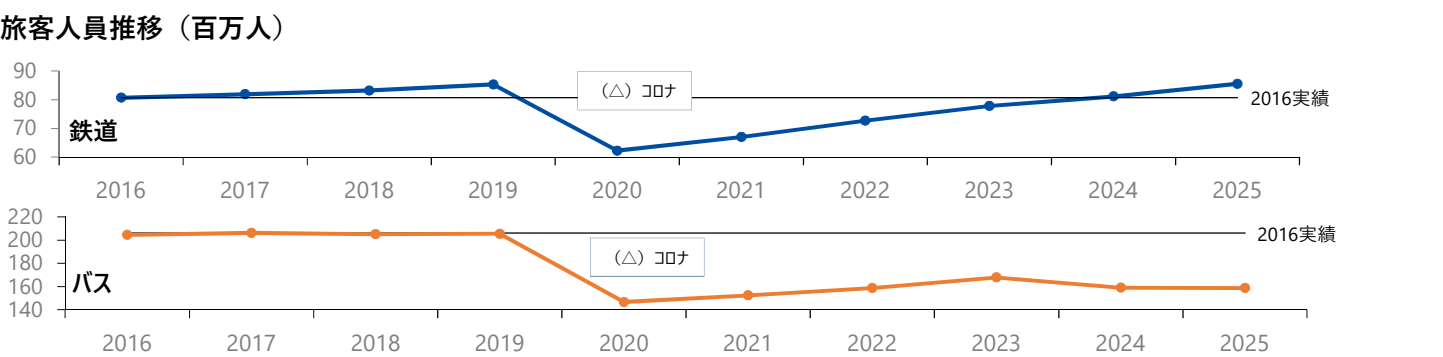
運 輸 業 鉄道事業で需要の回復などにより旅客人員が増加したことや、バス事業でダイヤ改正による減便などでの減収の一方、インバウンド需要の増加や「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業効果などにより、増収  
待遇改善による人件費の増加などにより、減益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容	
営 業 収 益	62,763	61,201	1,561	2.6		
鉄 道	17,888	16,902	985	5.8	(＋) 旅客人員の回復 ( 定期外・定期 )	
バ ス ※2	42,853	42,384	469	1.1	(＋) インバウンド需要増、ONE FUKUOKA BLDG.開業効果	
( ※1 実 質 )	(40,403)	(39,793)	(610)	(1.5)	(△) ダイヤ改正による減便	
他 ※2	9,320	9,243	77	0.8	(＋) 運輸関連	
消 去	△7,299	△7,328	29	-		
営 業 利 益	2,856	4,987	△2,131	△ 42.7		
鉄 道	1,298	2,097	△799	△ 38.1	(△) 費用増 ( 人件費・減価償却費・修繕費増 )	(＋) 増収
バ ス ※2	1,728	2,839	△1,110	△ 39.1	(△) 費用増 ( 人件費・減価償却費増 )	(＋) 増収
他 ※2	39	75	△36	△ 47.9		
消 去	△209	△24	△185	-		
※1 実質・・・事業内部取引を除く						
※2 従来、「運輸業」の「他」に含めていた北九西鉄交通(株) ( 旧社名：北九西鉄タクシー(株) ) は、タクシー事業を終了したため、当第3四半期連結累計期間の期首より主要な事業となる「バス事業」に変更しています。 なお、前第3四半期連結累計期間については、組替えを行っています。						
E B I T D A	8,563	10,066	△1,503	△ 14.9	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )	
設 備 投 資	4,334	3,116	1,218	39.1		

旅客人員 (単位：百万人)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)
鉄 道	85	81	4	5.5
定 期 外	36	34	2	6.7
定 期	48	46	2	4.5
バ ス ※2	158	159	△0	△0.2
定 期 外	90	90	0	0.0
定 期	67	68	△0	△0.5



不 動 産 業 住宅事業で「ガーデングランド横浜戸塚」などのマンション販売戸数が増加したことや、  
賃貸事業で「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業（2025年 4 月）などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	66,191	55,326	10,865	19.6	
賃 貸	28,732	24,010	4,722	19.7	(+) ONE FUKUOKA BLDG.開業
住 宅	31,708	22,979	8,729	38.0	(+) マンション ( 販売戸数増 )、戸建 ( 販売区画数増 )
その他不動産	11,083	11,671	△587	△5.0	(△) 受注減
消 去	△5,333	△3,334	△1,999	-	
営 業 利 益	9,344	6,866	2,478	36.1	
賃 貸	5,476	5,550	△73	△1.3	(△) 費用増 ( 減価償却費・共益費・手数料増 )
住 宅	3,725	1,096	2,629	239.8	(+) マンション ( 粗利増 )、戸建 ( 粗利増 )
その他不動産	380	380	0	0.0	
消 去	△238	△161	△77	-	
E B I T D A	16,464	12,058	4,406	36.5	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )
設 備 投 資	10,562	40,879	△30,316	△74.2	

分譲販売区画数

(単位：戸、区画)

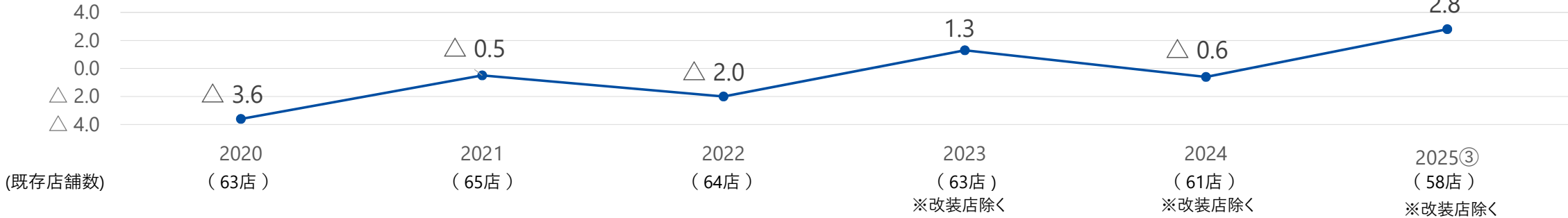
	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	摘 要
合計	607	449	158	35.2	
マンション	455	334	121	36.2	〈当期〉ガーデングランド横浜戸塚、一棟売却賃貸マンション
〔うち一棟売却 賃貸マンション〕	(151)	(149)	(2)	(1.3)	〈前期〉一棟売却賃貸マンション、照葉ザ・タワー
戸 建	148	107	41	38.3	
リノベーション	3	8	△5	△62.5	

流通業 ストア事業で沿線店舗をはじめ既存店売上が増加したことや改装店舗の寄与などにより、増収  
ストア事業で運営費や人件費などの費用が増加したことなどにより、減益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	56,222	54,683	1,538	2.8	
ス ト ア	51,420	50,219	1,201	2.4	(+) 既存店 ( 沿線店舗好調 )、改装店 ( 前期：砂津店、当期：天神店 ) (△) 閉鎖店 ( 前期：竹下店、三苫店、香椎照葉店 )
生活雑貨販売	4,801	4,464	336	7.5	(+) 既存店売上増 (△) 閉鎖店 ( 前期：広島店、当期：西新店 )
消 去	△0	△0	0	-	
営 業 利 益	597	644	△47	△7.4	
ス ト ア	483	571	△88	△15.5	(△) 費用増 ( 運営費・人件費増 ) (+) 粗利増
生活雑貨販売	242	201	41	20.4	(+) 粗利増
消 去	△128	△128	△0	-	
E B I T D A	1,338	1,345	△6	△0.5	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )
設 備 投 資	1,158	775	383	49.5	

【参考】ストア 食品スーパー既存店売上 対前期比推移(%) ※収益認識会計基準等適用前ベース



食品スーパー既存店：当該年およびその前年のいずれにも営業していた店舗を対象。また、年度の途中で開店または閉店した店舗は除外。

物 流 業

国際物流事業で輸出入取扱高が増加したことや為替変動による円換算額の増加などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	110,404	105,073	5,330	5.1	
国 際 物 流	115,499	109,400	6,098	5.6	(+) 輸出入取扱高増
国 内 物 流	8,630	8,256	374	4.5	(+) 取扱増
消 去	△13,725	△12,582	△1,142	-	
営 業 利 益	3,979	2,471	1,507	61.0	
国 際 物 流	3,865	2,454	1,410	57.5	(+) 粗利増
国 内 物 流	209	125	84	66.9	
消 去	△95	△108	13	-	
E B I T D A	5,955	4,168	1,786	42.8	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )
設 備 投 資	2,681	2,814	△133	△4.7	

国際貨物取扱高

	単位	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	地域ごとの増減率(%)
航 空 輸 出	(千トン)	79	76	3	4.2	日本 10.5、北中米 △5.3、欧州 △9.3、アジア 3.9
航 空 輸 入	(千件)	261	239	21	9.1	日本 1.7、北中米 16.0、欧州 1.4、アジア 11.8
海 運 輸 出	(千TEU)	88	82	6	7.4	日本 3.8、北中米 6.1、欧州 △14.8、アジア 10.1
海 運 輸 入	(千TEU)	114	106	8	7.5	日本 7.3、北中米 14.9、欧州 △1.4、アジア 8.0



レジャー・サービス業      ホテル事業で客室単価の上昇に加え、「ONE FUKUOKA HOTEL」の開業（2025年4月）や  
前期に開業した「西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム」（2024年9月）の寄与などにより、増収  
ホテル事業で人件費の増加や「ONE FUKUOKA HOTEL」の開業費用の発生などにより、減益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	43,255	38,850	4,405	11.3	
ホ テ ル	27,287	23,398	3,889	16.6	(+) 客室単価の上昇、ONE FUKUOKA HOTEL開業、
( ※ 実 質 )	(26,544)	(23,383)	(3,161)	(13.5)	前期開業ホテル ( 西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム )
旅 行	2,676	2,413	263	10.9	(+) 取扱増
娛 楽	4,258	4,093	165	4.0	(+) 水族館入館人員増
他	10,859	9,894	964	9.7	(+) 受注増
消 去	△1,826	△949	△876	-	
営 業 利 益	5,220	5,337	△117	△2.2	
ホ テ ル	2,823	3,093	△269	△8.7	(△) 費用増 ( 人件費・手数料・減価償却費増 )
旅 行	618	519	99	19.1	(+) 粗利増
娛 楽	1,030	1,056	△26	△2.5	
他	892	761	130	17.2	(+) 粗利増
消 去	△145	△93	△51	-	
※実質・・・事業内部取引を除く					
E B I T D A	6,965	6,429	536	8.3	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )
設 備 投 資	1,234	1,917	△682	△35.6	前期：西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム ( 2024年9月開業 )

国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)
客室単価 (円)	14,009	13,089	920	7.0
稼働率 (%)	79.7	79.3	0.4P	-
Rev PAR (円)	11,172	10,376	796	7.7

シティホテル及びONE FUKUOKA HOTELは除く

そ の 他 農業関連事業でヒノマルホールディングス株式会社を連結子会社化したことなどにより、増収  
金属リサイクル事業で粗利が増加した一方、  
ヒノマルホールディングス株式会社の株式取得において取得関連費用が発生したことなどにより、減益

(単位：百万円)

	2025/3Q	2024/3Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	25,106	21,637	3,469	16.0	
車両整備関連	11,646	11,057	588	5.3	(+) 受注増
建設関連	6,121	6,543	△421	△6.4	(△) 戸建受注減
金属リサイクル	3,289	3,422	△133	△3.9	(△) 一時的な稼働停止に伴う販売数量減
ICカード	1,027	1,231	△203	△16.5	
農業関連	3,678	-	3,678	-	(+) ヒノマルホールディングス連結子会社化
消 去	△656	△617	△39	-	
営 業 利 益	1,381	1,622	△240	△14.8	
車両整備関連	735	725	10	1.4	(+) 粗利増
建設関連	325	370	△45	△12.2	(△) 粗利減
金属リサイクル	625	510	114	22.5	(+) 粗利増
ICカード	△35	93	△129	-	
農業関連	70	-	70	-	(+) ヒノマルホールディングス連結子会社化
消 去	△339	△78	△261	-	(△) ヒノマルホールディングス株式 取得関連費用
E B I T D A	2,127	2,242	△114	△5.1	( EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費] )
設 備 投 資	1,467	606	861	142.0	

3. 連結財政状態

(単位：億円)

	2025年 12月末	2025年 3月末	増 減	主 な 増 減 内 容
資 産 合 計	7,953	7,821	132	
流動資産	2,150	2,177	△26	受取手形・売掛金及び契約資産 △49 ( 売掛金等 )、現金及び預金 △15、 販売土地及び建物 49
固定資産	5,803	5,644	158	投資有価証券 73、のれん 50、有形固定資産 40
負 債 合 計	5,187	5,261	△74	
流動負債	1,515	1,571	△57	支払手形及び買掛金 △97、借入金 △96、賞与引当金 △36、 その他 87、未払消費税等 41
固定負債	3,672	3,690	△17	
純 資 産 合 計	2,766	2,560	206	利益剰余金 241 ( 四半期純利益 278、配当 △36 )、自己株式 △40
自 己 資 本 比 率	33.7%	31.8%	1.9P	
株 主 資 本 比 率	29.7%	27.7%	2.0P	
1 株 当 たり 純 資 産	3,547.51円	3,214.37円	333.14円	
有 利 子 負 債	3,566	3,662	△96	借入金 △96

※ 有利子負債 = 借入金 + 社債

4. 2025年度連結業績予想

(単位：億円)					
	2025年度 業績予想	2024年度 実績	増減 ( '25-'24 )	前回公表 ( 11/13 )	差異 ( 今回 - 前回 )
営 業 収 益	4,727	4,435	292	4,765	△ 38
運 輸	831	809	22	831	-
不 動 産	953	878	75	1,036	△ 83
流 通	738	720	18	741	△ 3
物 流	1,531	1,480	51	1,502	29
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	584	527	57	566	18
そ の 他	384	310	74	381	3
調 整 額	△ 294	△ 289	△ 5	△ 292	△ 2
営 業 利 益	282	267	15	270	12
運 輸	37	50	△ 13	40	△ 3
不 動 産	109	97	12	109	-
流 通	6	7	△ 1	7	△ 1
物 流	59	38	21	52	7
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	61	59	2	55	6
そ の 他	22	24	△ 2	18	4
調 整 額	△ 12	△ 9	△ 3	△ 11	△ 1
経 常 利 益	343	287	56	276	67
親会社株主に帰属する当期純利益	310	208	102	250	60

【前回公表(11/13)との差異】

- 営 業 収 益：不動産業における住宅事業でのマンション販売計画の見直し
- 営 業 利 益：物流業における国際物流事業での粗利の増加やレジャー・サービス業におけるホテル事業での客室単価の上昇
- 経 常 利 益：持分法適用会社である大名プロジェクト特定目的会社での信託受益権の一部売却や海外不動産事業での投資損益の改善等に伴い、持分法による投資利益が増加